

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価書（案）

交付金事業の名称	電子図書館導入整備事業
事業年度	令和4年度補正デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプTYPE1）
交付年度	令和5年度

事業概要
<p>「読書バリアフリー法」の制定，新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策，「GIGAスクール構想」の実現など，変化する情勢にあわせた図書館サービスの実現を目指している。「読書バリアフリーな環境づくり」，「情勢に適応した図書館機能の拡大」，「ICTを活用した機能・コンテンツの充実」といった課題の解決を図り，「誰一人取り残さない図書館サービス」を提供するため，電子図書館システムを導入した。</p>

事業収支			
予定していた2024年度の事業収支		実際の2024年度の事業収支	
経費項目	金額 (単位：千円)	経費項目	金額 (単位：千円)
図書館システム月額利用料金	660	図書館システム月額利用料金	660
商用電子書籍（1000タイトル）賃借料	3,740	商用電子書籍（1041タイトル）賃借料	4,356
電子マガジン賃借料	660	電子マガジン賃借料	660
郷土資料5点 電子資料化作業	338	郷土資料6点 電子資料化作業	121
経費合計	5,398	経費合計	5,797
収入項目	金額 (単位：千円)	収入項目	金額 (単位：千円)
村一般財源	5,398	村一般財源	5,797
収入合計	5,398	収入合計	5,797

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価書（案）

重要業績評価指標（KPI）					
KPI①	種別	単位	2023年度末目標値	2023年度末実績値	達成状況
電子図書館の利用（ロ グイン）数	アウトプット	人	2,200	23,047	達成
			2024年度末目標値	2024年度末実績値	達成状況
			2,600	32,964	達成
			2025年度末目標値	2025年度末実績値	達成状況
			2,900		
達成のための取組み又は達成できなかった理由及び次年度達成に向けた取組み					
<p>当初の目標を大幅に上回る実績となった。電子図書館使い方講座，地域戦略課のスマートフォン相談窓口とのコラボレーションを各2回ずつ行った。また，教育委員会指導室を通して学校図書館指導員と連携し，小中学校の新入学生にIDを配布し，電子図書館を授業でも活用していただいた。また，村内の県立高校においても，ID配布のご協力をいただいた。電子図書館を開設して1周年となり，広報やチラシ，デジタルサイネージ等での啓発を行った。電子書籍の蔵書を増やすため，7月から2月にかけて毎月選書を行ったほか，読み放題パックの購入の際には学校の意見を反映させた。また，他部局で作成した資料や，郷土資料（紙）の電子書籍化を行い，HPのトップページ特集の入替等を毎週行った。</p> <p>2025年度末までの目標を既に達成しているが，運営の充実を図るとともに，更に積極的な周知活動を実施していく。</p>					

KPI②	種別	単位	2023年度末目標値	2023年度末実績値	達成状況
音声読み上げコンテ ンツ資料数	アウトプット	点	2,500	3,131	達成
			2024年度末目標値	2024年度末実績値	達成状況
			3,000	3,765	達成
			2025年度末目標値	2025年度末実績値	達成状況
			3,500		
達成のための取組み又は達成できなかった理由及び次年度達成に向けた取組み					
<p>当初の目標を達成した。</p> <p>通常の電子書籍のほか，音声資料である「オーディオブック」を購入し，読書バリアフリーの向上に努めた。2025年度末までの目標を既に達成しているが，2025年度中にライセンス期限が切れる資料が多数あるため，目標を達成できるよう，音声読み上げ付きや音声資料等のコンテンツを継続して購入していく。</p> <p>（2024年度末実績値内訳：音声読み上げ付き電子書籍3,660点，音声資料（オーディオブック等）58点，「うごくえほん」及び「おとえほん」47点）</p>					

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価書（案）

KPI③	種別	単位	2023年度末目標値	2023年度末実績値	達成状況
郷土資料の電子書籍化数	アウトプット	冊	40	51	達成
			2024年度末目標値	2024年度末実績値	達成状況
			50	57	達成
			2025年度末目標値	2025年度末実績値	達成状況
			60		

達成のための取組み又は達成できなかった理由及び次年度達成に向けた取組み

当初の目標を達成した。
 2024年度は、昭和58年から発行されていた「東海村統計書」6冊について、事業者への委託によりデジタル化を行い、電子書籍として閲覧できるようにした。
 そのほか（実績値には含まれないが）、他課で既にPDFファイルで作成されていた村関係の資料についても、同様に電子書籍化した。
 今後も生涯学習課 博物館・文化財担当の他、役場全体に電子図書館の周知を行い、電子化したい郷土資料を募集する等、継続してコンテンツを増やしていく。

KPI④	種別	単位	2023年度末目標値	2023年度末実績値	達成状況
60歳以上の電子図書館利用満足度	アウトカム	%	60	78	達成
			2024年度末目標値	2024年度末実績値	達成状況
			67	64	未達成
			2025年度末目標値	2025年度末実績値	達成状況
			74		

達成のための取組み又は達成できなかった理由及び次年度達成に向けた取組み

電子図書館アンケートにおいて、電子図書館を利用したことのある60歳以上の方28名のうち、「満足」「やや満足」と答えた方が18名、「やや不満」「不満」と答えた方が10名であり、目標を達成できなかった。寄せられた要望としては、小説等の蔵書の充実を求めるもの、使いやすさ・本の探しやすさ等の機能の充実を求めるものが多かった。高齢者はスマートフォンやタブレットの操作に慣れていない方が多いため、今後も使い方講座や他課と連携した啓発活動が続けていく。また、要望に即した資料を収集するとともに、委託業者に対し「使いやすさ」などの機能の充実を求める。

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価書（案）

KPI⑤	種別	単位	2023年度末目標値	2023年度末実績値	達成状況
家で週1回以上読書をする村内小学生の増加数	アウトカム	%	67	56.8	未達成
			2024年度末目標値	2024年度末実績値	達成状況
			70	49	未達成
			2025年度末目標値	2025年度末実績値	達成状況
			73		

達成のための取組み又は達成できなかった理由及び次年度達成に向けた取組み

村内小学生（4～6年生）を対象とした「読書についてのアンケート」において、全体1,010人のうち家で週1回以上読書をする児童は495人となり、目標を達成できなかった。
 KPI未達成の理由としては、子どもの家庭での過ごし方の変化が挙げられる。近年の調査では、家庭での「塾や習い事」「スマホやゲーム」に費やす時間の増加が謳われおり、これが理由の一つと考える。達成に向けた取組としては、2024年度に策定した「第4次子ども読書活動推進計画」に基づき、該当の年代に対し「家庭に対する読書の大切さの呼びかけ」や「図書館等での魅力的な資料の収集とその発信」、「就学前からの読書習慣の定着を目的とし、未就学児家庭に対する読書の大切さの呼びかけ」を行う。

KPI⑥	種別	単位	2023年度末目標値	2023年度末実績値	達成状況
電子図書館利用満足度	アウトカム	%	71	73	達成
			2024年度末目標値	2024年度末実績値	達成状況
			78	69.8	未達成
			2025年度末目標値	2025年度末実績値	達成状況
			85		

達成のための取組み又は達成できなかった理由及び次年度達成に向けた取組み

電子図書館アンケートにおいて、電子図書館を利用したことのある方129名のうち、「満足」「やや満足」と答えた方が90名、「やや不満」「不満」と答えた方が39名であり、目標を達成できなかった。寄せられた要望としては、小説等の蔵書の充実を求めるもの、使いやすさ・本の探しやすさ等の機能の充実を求めるものが多かった。今後も使い方講座や他課と連携した啓発活動を続けていくほか、人気のある分野の電子書籍を増やす等、選書の工夫も行っていく。

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価書（案）

交付金事業の名称	デマンドタクシーAI配車システム導入事業
事業年度	令和5年度補正デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプTYPE1）
交付年度	令和6年度

事業概要
<p>平成18年度に運行を開始した本村のデマンド交通「あいのりくん」は、年間の利用が4万件前後と村民の生活の足として定着しているものの、人の手による配車調整等に限界があり、予約受付や運行の効率性等に課題を抱えている。現状のままでは、高齢化を背景としたさらなる交通弱者の増加に対応できないことから、AI配車システムを導入し「あいのりくん」の機能を拡充することで諸課題の解決を図り、持続可能な公共交通体系を構築する。</p>

事業収支			
予定していた2024年度の事業収支		実際の2024年度の事業収支	
経費項目	金額 (単位：千円)	経費項目	金額 (単位：千円)
運行管理システム費 (システム初期導入費用)	7,700	運行管理システム費 (システム初期導入費用)	7,700
ソリューション導入支援費用 (システム初期導入費用)	770	ソリューション導入支援費用 (システム初期導入費用)	770
プロジェクトマネジメント費用 (システム初期導入費用)	1,109	プロジェクトマネジメント費用 (システム初期導入費用)	1,109
LINE連携構築費 (システム初期導入費用)	1,540	LINE連携構築費 (システム初期導入費用)	1,540
SaaSライセンス費 (システム保守点検・運用)	1,931	SaaSライセンス費 (システム保守点検・運用)	1,931
運行維持サポート費（問合せ窓口、運行改善コンサルティング等）	751	運行維持サポート費（問合せ窓口、運行改善コンサルティング等）	751
LINE連携運用費 (LINE社サーバー利用、API連携)	386	LINE連携運用費 (LINE社サーバー利用、API連携)	386
車いす配車機能（オプション機能）	64	車いす配車機能（オプション機能）	64
経費合計	14,251	経費合計	14,251
収入項目	金額 (単位：千円)	収入項目	金額 (単位：千円)
国交付金 (デジタル田園都市国家構想交付金)	7,125	国交付金 (デジタル田園都市国家構想交付金)	7,125
県補助金 (新たな移動サービス支援補助金)	5,000	県補助金 (新たな移動サービス支援補助金)	2,974
村一般財源	2,126	村一般財源	4,152
収入合計	14,251	収入合計	14,251

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価書（案）

重要業績評価指標（KPI）					
KPI①	種別	単位	2024年度末目標値	2024年度末実績値	達成状況
AIによる配車件数	アウトプット	件	10,094	10,632	達成
			2025年度末目標値	2025年度末実績値	達成状況
			41,548		
			2026年度末目標値	2026年度末実績値	達成状況
			42,770		
達成のための取組み又は達成できなかった理由及び次年度達成に向けた取組み					
<p>成功要因として、住民向けの使い方説明会の開催、スマートフォン相談窓口でのアプリ操作に関する支援、村の広報誌やホームページを通じた積極的な広報活動が挙げられる。説明会では操作方法を詳しく解説し、相談窓口でスマートフォンに不慣れなユーザーへの対応を強化。広報活動により認知度も向上した。これらの施策が相乗効果を生み、幅広い層への利用拡大につながったと考えられる。加えて、村のホームページを活用して新システムを積極的に紹介した。これにより、多くの住民がデマンドタクシーとAI配車の存在を知り、興味を持ち利用するきっかけとなった。今後とも相談窓口は継続するとともに、祭りなどのイベント時にブースを出展する等利用促進活動を強化していく。</p>					

KPI②	種別	単位	2024年度末目標値	2024年度末実績値	達成状況
デマンドタクシーユーザー利用満足度	アウトカム	%	60	85	達成
			2025年度末目標値	2025年度末実績値	達成状況
			65		
			2026年度末目標値	2026年度末実績値	達成状況
			70		
達成のための取組み又は達成できなかった理由及び次年度達成に向けた取組み					
<p>成功要因として、配車調整をAIが担う形にしたことにより、従前から課題としていた下記の事項が解決した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約・配車調整について、従前は配車オペレーターが1件当たり5分以上時間を要していたが、AIでは数秒で処理が完了するようになった。それにより、ユーザーの待機時間が大幅に減少及び電話予約の混雑が解消した。 ・予約受付時間について、従前はオペレーター勤務時間内でのみ受付としていたが、AI配車導入後は24時間受付が可能となった。（アプリ予約に限る。） ・予約申込タイミングについて、従前は（オペレーターが処理できる）希望乗車時間の30分前としていたが、AI配車導入後は今すぐ乗車のリクエストが可能となった。 ・システムパラメーター（乗降時間や乗合許容時間）について、運行実績を踏まえて調整を図っている。 <p>以上により、利用満足度が大幅に向上したと考えられる。今後とも運行実績を踏まえてパラメーター調整等改善を図っていく。</p>					

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価書（案）

KPI③	種別	単位	2024年度末目標値	2024年度末実績値	達成状況
電話予約時における ユーザー待機時間（減 少が好ましい指標）	アウトカム	分	4	2.5	達成
			2025年度末目標値	2025年度末実績値	達成状況
			3		
			2026年度末目標値	2026年度末実績値	達成状況
			2		
達成のための取組み又は達成できなかった理由及び次年度達成に向けた取組み					
<p>成功要因として、配車調整をAIが担う形にしたことにより、予約・配車調整について、従前は配車オペレーターが1件当たり5分以上時間を要していたが、AIでは数秒で処理が完了するようになった。それにより、ユーザーの待機時間が大幅に減少及び電話予約の混雑が解消した。併せて、オペレーターに対して新しいシステムでの予約受付方法についての研修会を開催したほか、新システム供用開始後しばらくは行政職員がコールセンターに張り付き、システム操作指導やトラブル処理の支援を行ったことにより、円滑に定着したと考えられる。今後とも継続的に研修や指導を行い所要時間の改善を図る。</p>					

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価書（案）

交付金事業の名称	スマートサービス推進事業
事業年度	令和5年度補正デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプTYPE1）
交付年度	令和6年度

事業概要
<p>窓口における住民の申請書記入に係る手間や時間等が課題となっている。令和6年度は本村の「とうかい“まるごと”デジタル化構想」に基づき、住民課窓口マイナンバーカードを活用した申請書自動作成システムを導入し、手書きでの申請書記入の手間など住民の負担を軽減することで、課題解決へ向けた“書かない窓口”の取り組みの一つとして、より良い窓口サービスの提供及び窓口業務の効率化を目指す。</p>

事業収支			
予定していた2024年度の事業収支		実際の2024年度の事業収支	
経費項目	金額 (単位：千円)	経費項目	金額 (単位：千円)
申請書自動作成システムマイナピット (タブレット、プリンター)一式	1,749	申請書自動作成システムマイナピット (タブレット、プリンター)一式	1,694
経費合計	1,749	経費合計	1,694
収入項目	金額 (単位：千円)	収入項目	金額 (単位：千円)
国交付金 (デジタル田園都市国家構想交付金)	874	国交付金 (デジタル田園都市国家構想交付金)	847
村一般財源	875		847
収入合計	1,749	収入合計	1,694

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価書（案）

重要業績評価指標（KPI）					
KPI①	種別	単位	2024年度末目標値	2024年度末実績値	達成状況
申請書自動作成システム利用率の向上	アウトプット	%	10	22	達成
			2025年度末目標値	2025年度末実績値	達成状況
			12		
			2026年度末目標値	2026年度末実績値	達成状況
14					
達成のための取組み又は達成できなかった理由及び次年度達成に向けた取組み					
<p>マイナンバーカード関連の手続きの場合、当該システムに必須であるマイナンバーカードをほとんど全例で携帯している。そのため、当該システムの利用への誘導が容易であり、その結果、利用率が当初想定していたよりも上回るようになった。他方、証明書の申請書としてだけ見ると、マイナンバーカードを持っていない方や、記載台に備え付けの様式に記入してから受付をする方もいるため、利用率は低くなっている。積極的に誘導するようにしたい。</p>					

KPI②	種別	単位	2024年度末目標値	2024年度末実績値	達成状況
利用者の満足度向上	アウトカム	ポイント	2.6	2.84	達成
			2025年度末目標値	2025年度末実績値	達成状況
			2.7		
			2026年度末目標値	2026年度末実績値	達成状況
2.8					
達成のための取組み又は達成できなかった理由及び次年度達成に向けた取組み					
<p>デジタル機器になじみのない方や暗証番号がすぐに思い出せない場合には、利便性が実感できないとの回答もあったが、おおむね反応は良好で、特に、記載時間が短縮されていることについては実感を持っている方が多かった。ただし、申請書を手書きするというステップを経ないで当該システムを利用するため、手書きと比べて記載時間が削減できたという実感を持っていない方も散見された。ある程度職員が誘導・操作することによって、利用者の満足度の向上につなげたい。</p>					

KPI③	種別	単位	2024年度末目標値	2024年度末実績値	達成状況
手続き時間の削減	アウトカム	時間	20	31	達成
			2025年度末目標値	2025年度末実績値	達成状況
			22		
			2026年度末目標値	2026年度末実績値	達成状況
24					
達成のための取組み又は達成できなかった理由及び次年度達成に向けた取組み					
<p>マイナンバーカード関連の手続きの場合、当該システムに必須であるマイナンバーカードをほとんど全例で携帯している。そのため、当該システムの利用への誘導が容易であり、その結果、利用率が当初想定していたよりも上回るようになった。また、可搬性のある形状であることを活かし、当該タブレットの設置場所から離れた場所で申請書が必要になった場合にも、当該タブレットを持って行ってそこで簡便に申請書を作成し、手続き時間の削減に寄与することができた。</p>					

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価書（案）

交付金事業の名称	いばらきサイクルツーリズム推進強化事業
事業年度	令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）
交付年度	令和6年度

事業概要
<p>【茨城県】</p> <p>1 稼げる地域づくりの実現に向けた環境創造事業</p> <p>①滞在型サイクルツーリズムのモデル構築</p> <p>②新規顧客に対する集中的マーケティング</p> <p>2 サイクリングフロンティア開拓事業</p> <p>①マイクロサイクルツーリズムの推進</p> <p>②サイクリングを通じた移住・定住の促進</p> <p>③奥久慈里山ヒルクライムルート及び大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進協議会の運営のための負担金</p> <p>【9市町村（水戸市、日立市、常陸太田市、ひたちなか市、常陸大宮市、茨城町、大洗町、城里町、東海村）】</p> <p>官民連携の協議会を新たに組織し、サイクルツーリズムへの機運が醸成されている県北及び県央の市町村において、訪れた人がサイクリングを通じて地域を周遊するための仕組みづくりや、地域のファンとなって複数回訪れたいくなるような魅力ある資源の掘り起こしを実施するとともに、サイクルツーリズムに係る情報発信を強力に実施し、県や協議会の取組と連携しながら、地域の消費拡大及び移住・定住の促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携したサイクリング訪問客の受入態勢の構築 ・地域資源（県内最高峰を誇る八溝山、温泉、神社・仏閣、食など）を活用したサイクリングイベントの実施 ・地域周遊を促すマップ作成等の情報発信 ・奥久慈里山ヒルクライムルート及び大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進協議会の運営のための負担金

事業収支			
予定していた2024年度の事業収支		実際の2024年度の事業収支	
経費項目	金額 (単位：千円)	経費項目	金額 (単位：千円)
奥久慈里山ヒルクライムルート及び大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進協議会の運営のための負担金	200	奥久慈里山ヒルクライムルート及び大洗・ひたち海浜シーサイドルート利活用推進協議会の運営のための負担金	200
経費合計	200	経費合計	200
収入項目	金額 (単位：千円)	収入項目	金額 (単位：千円)
国交付金 (デジタル田園都市国家構想交付金)	66	国交付金 (デジタル田園都市国家構想交付金)	66
村一般財源	134	村一般財源	134
収入合計	200	収入合計	200

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価書（案）

重要業績評価指標（KPI）					
KPI①	種別	単位	2021年度末目標値	2021年度末実績値	達成状況
サイクリスト宿泊者数 (2021～2025年度累計)	アウトカム	人	150	360	達成
			2022年度末目標値	2022年度末実績値	達成状況
			320	779	達成
			2023年度末目標値	2023年度末実績値	達成状況
			558	1,138	達成
			2024年度末目標値	2024年度末実績値	達成状況
			800	1,757	達成
			2025年度末目標値	2025年度末実績値	達成状況
			1,047		
達成のための取組み又は達成できなかった理由及び次年度達成に向けた取組み					
<p>KPI①のサイクリストの宿泊者数は、サイクリストに優しい宿を起点としたライドプランを活用し、首都圏サイクリスト、台湾インバウンド向けにプロモーションを実施した結果、目標を上回る宿泊客数を得ることができた。今後は、更なる宿泊客数の増加を図るため、サイクリストにやさしい宿を紹介するPR動画を活用するほか、インバウンド誘客を拡大するため、台湾に加え、欧米豪も対象としたプロモーションを行うと共に、サイクリスト目線でのルート点検を行い、サイクリストの受入環境の整備支援を行う。</p>					
KPI②	種別	単位	2021年度末目標値	2021年度末実績値	達成状況
サイクリングを伴う教育旅行の誘致回数 (2021～2025年度累計)	アウトプット	回	3	3	達成
			2022年度末目標値	2022年度末実績値	達成状況
			8	5	未達成
			2023年度末目標値	2023年度末実績値	達成状況
			15	7	未達成
			2024年度末目標値	2024年度末実績値	達成状況
			20	8	未達成
			2025年度末目標値	2025年度末実績値	達成状況
			25		
達成のための取組み又は達成できなかった理由及び次年度達成に向けた取組み					
<p>KPI②については、中学校、高等学校を対象に教育旅行実施に向けた働きかけを実施してきたが、競合する旅行先が複数ある中で、サイクリングを候補とする学校が一定数に留まっていることによる。 中学校、高等学校の教育旅行の誘致については、開催実績はあったものの一定数に留まることから、更に早い年代からサイクリングの教育旅行需要を捉えるため、小学校も対象とすることに加え、既にニーズのある大学や団体も対象に加え、教育旅行の実施回数、効果を拡大していく。</p>					

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業評価書（案）

KPI③	種別	単位	2021年度末目標値	2021年度末実績値	達成状況
移住・定住向けサイクリングツアーの参加者数（2021～2025年度累計）	アウトカム	人	10	9	達成
			2022年度末目標値	2022年度末実績値	達成状況
			35	17	未達成
			2023年度末目標値	2023年度末実績値	達成状況
			50	55	達成
			2024年度末目標値	2024年度末実績値	達成状況
			65	61	未達成
			2025年度末目標値	2025年度末実績値	達成状況
			80		
達成のための取組み又は達成できなかった理由及び次年度達成に向けた取組み					
<p>KPI③移住・定住向けサイクリングツアーの参加者数については、旅行会社やメディアを対象としたモニターツアーの実施に加え、一般サイクリストも対象としたことにより、2023年度は目標を初めて達成できたことから、更なる拡充のため、県の移住推進部署と連携し、移住・定住に関心を持つ一般サイクリストに直接的に情報発信出来る仕組みを活用し、ツアー参加者数の増加を図る。</p>					